

株式会社 **小林洋行**

第74期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日

株主の皆様へ TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

ここに「第74期 株主通信」をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

第74期は、新型コロナウイルスの感染拡大により、社会・経済は世界的に大きな影響を受けました。緊急事態宣言が発令され、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、様々なイベントが中止や延期となり、インバウンド需要も減少しました。

マーケットでは、前半リスク回避のために安全資産とされる金を買われ2020年8月7日一時7,032円と金先物価格が過去最高値を更新しました。一方、日経平均株価は、とくに後半4カ月連続で上昇し、日米欧の中央銀行による金融緩和が続くなか、ワクチン接種が日本でも始まり、経済活動の早期正常化への期待感から2021年2月には3万円台を回復しました。為替は、2021年3月に入って米長期金利の上昇を背景に円は対米ドルで下落し、約1年ぶりの110円台まで円安が進みました。

当社グループは、投資・金融サービス業（商品先物取引、くりっく365・くりっく株365等）、生活・環境事業（広告用電設資材卸売業、LED照明等の販売、生命保険・損害保険の募集等）、スポーツ施設提供業（ゴルフ場関連事業）、不動産業（不動産賃貸業、宅地建物取引業）、その他（インターネット広告事業等）を営む各社より構成されております。

感染症の影響により経済活動が左右される状況のなかで、収束の時期は未だ見えてきません。セグメントごとに影響を分析し、有事におけるリスクヘッジを加味しながら、経営資源の適切な配分に努め、安定した経営体制の確立に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2021年6月
代表取締役社長 細金 成光

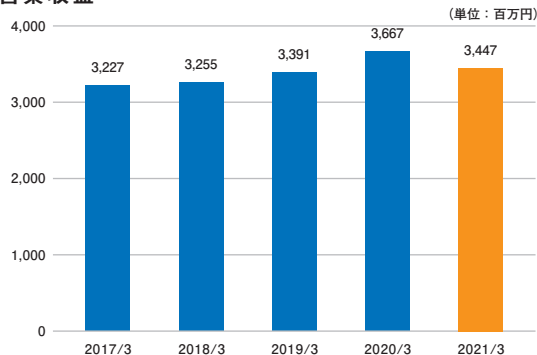
業績予想について

当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業の業績は、商品市況、株式市況、為替相場等の変動に大きな影響を受ける傾向があり、業績を予測することが困難であるため開示しておりません。したがって、当社では四半期及び通期の業績につきましては、その概略がまとも次第、速報値等の公表を速やかに実施する方針です。

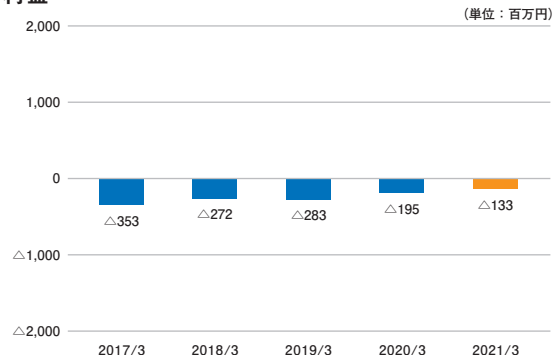
また、配当につきましては、通期連結業績の推移を踏まえて検討し、公表が可能となった時点で速やかにお知らせする予定です。

連結業績の推移 Highlight

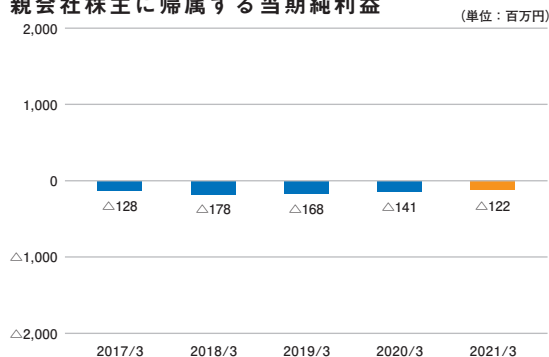
営業収益



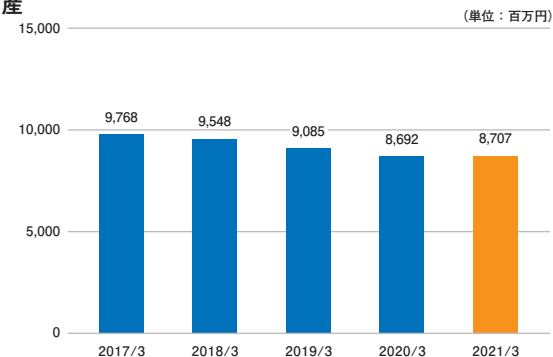
経常利益



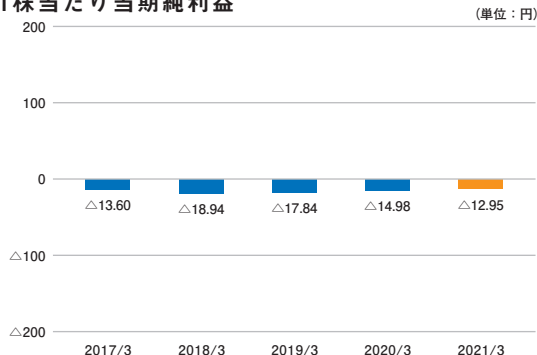
親会社株主に帰属する当期純利益



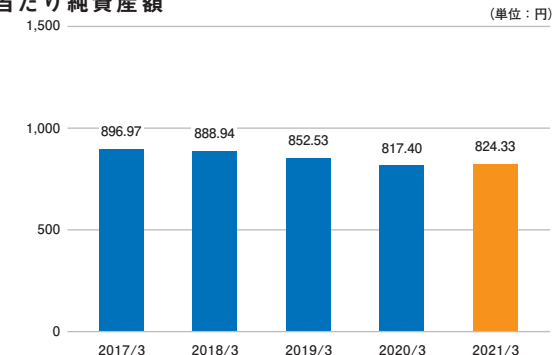
純資産



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



連結財務諸表

●連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2021年3月31日現在)	前 期 (2020年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	8,680	9,496
現金及び預金	3,299	2,988
保管有価証券	257	246
委託者先物取引差金	402	804
差入保証金	3,857	4,407
預託金	48	44
その他の	819	1,035
貸倒引当金	△ 4	△ 30
固 定 資 産	5,517	5,585
有形固定資産	4,074	4,212
無形固定資産	13	15
投資その他の資産	1,429	1,357
資 産 合 計	14,197	15,081
負 債 の 部		
流 動 負 債	4,951	5,910
預り証拠金	2,475	2,365
その他の	2,476	3,545
固 定 負 債	515	453
特別法上の準備金	23	25
負 債 合 計	5,490	6,389
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	7,665	7,811
資本剰余金	2,000	2,000
利益剰余金	888	888
自己株	5,231	5,377
	△ 454	△ 454
その他の包括利益累計額	120	△ 91
非支配株主持分	922	972
純 資 産 合 計	8,707	8,692
負債・純資産合計	14,197	15,081

●連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	前 期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営 業 収 益	3,447	3,667
営 業 総 利 益	2,273	2,376
営 業 費 用	2,470	2,609
営 業 損 失 (△)	△ 197	△ 232
営 業 外 収 益	70	62
営 業 外 費 用	6	24
経 常 損 失 (△)	△ 133	△ 195
特 別 利 益	37	171
特 別 損 失	65	161
税金等調整前当期純損失 (△)	△ 161	△ 184
法人税、住民税及び事業税	17	18
法人税等調整額	△ 0	0
当 期 純 損 失 (△)	△ 178	△ 203
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 56	△ 62
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 122	△ 141

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	前 期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	543	63
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 173	163
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 53	△ 53
IV. 現金及び現金同等物の増減額	316	173
V. 現金及び現金同等物の期首残高	1,769	1,596
VI. 現金及び現金同等物の期末残高	2,086	1,769

●業績の概要

当社グループは2021年3月期において、投資・金融サービス業においては、感染症の感染拡大の影響で、セミナーやイベントの開催が制限されるなか、対面営業も大きな制約を受けました。この間、オンラインセミナーや動画配信サービスなどの非対面営業の強化に注力しましたが、対面営業を主体としているため、厳しい事業環境となりました。その結果、金融商品取引の受取手数料は1,011百万円、商品先物取引の受取手数料は338百万円となったため、投資・金融サービス業の受取手数料は1,350百万円となりました。

生活・環境事業においては、生命保険・損害保険の募集業務では、コロナ禍で対面営業が制限されるなか、テレワークなどの非対面営業の強化に注力しながら、外貨建て保険の利率改定前の駆け込み需要の取り込みや紹介による大口案件の獲得等により、募集手数料は279百万円となりました。また、LED照明等の販売においては、引き続き旺盛なリニューアル需要に支えられ売上高は220百万円となりましたが、コロナ禍による飲食店を中心とした設備投資の減速やイベント会場の閉鎖等により、広告用電設資材卸売業の売上高は363百万円となり、生活・環境事業の営業収益は864百万円となりました。

スポーツ施設提供業においては、当社が所有するゴルフ場（ゴールデンクロスカントリークラブ）では、一回目の緊急事態宣言の発令時の4月、5月には、来場者数は大幅に減少し売上高は前年比で47.8%の減収となりました。一方で、例年苦戦を強いられる夏場は緊急事態宣言中の反動により、またハイシーズンには台風の上陸もなく天候に恵まれたため、売上、来場者数ともに前年比で増加しました。今年に入り二回目の緊急事態宣言が発令されると、再び自粛モードとなったため来場者数は減少しましたが、状況に応じた料金設定により売上高はほぼ横這いとなりました。その結果、売上高は388百万円となりました。

不動産業においては、不動産賃貸では、当社グループが所有する賃貸用マンションは、高い入居率を維持し安定した収益源となりましたが、ビジネスホテルにつきましては、感染症の影響でインバウンド需要が皆無となったことで、一時休業するなど非常に厳しい事業環境となりました。また、不動産売買では、前半はコロナ禍もあって不動産市況の動向を見極めた新規仕入れとなりましたが、不動産業者との連携等に注力し販売用不動産の売却については、順調に進みました。その結果、売上高は612百万円となり、その他の事業を含めた営業収益は3,447百万円、営業総利益は2,273百万円となりました。

一方、営業費用は2,470百万円と減少したため、営業損失は197百万円、経常損失は133百万円となりました。また、投資有価証券売却益などの特別利益37百万円、減損損失などの特別損失65百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純損失は122百万円となりました。

Topics

投資・金融サービス業



FX・株価指数・商品取引なら、「フジトミ」で



取引所FXの「くりっく365」と株価指数証拠金取引の「くりっく株365」、商品先物取引を、オンライン取引とコンサルタント（対面）取引で取り扱っております。投資初心者の方を対象にセミナーを随時開催しております。投資経験者の方には、使い勝手が良い取引ツールと質の高い豊富な情報ツールをご用意しております。是非一度ご体感ください。

※「くりっく365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標であり、同取引所が上場している取引所為替証拠金取引の愛称です。

※「くりっく株365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標であり、同取引所が上場している取引所株価指数証拠金取引の愛称です。

資料請求・口座開設
セミナー申し込みはこちら



くりっく株365/くりっく365 商品先物取引オンライン TEL 0120-15-2413
東京TEL 0120-365-686 大阪TEL 0120-365-605 商品先物取引コンサルティング TEL 0120-241-337

生活・環境事業



豊富な商品ラインナップより、
お客様のニーズに応える保険商品をご提案します。

個々のお客様の不安や心配、計画や希望をお伺いして問題点を整理し、ご家族のライフプランから法人のリスクヘッジまで、保険を使った最適な解決策をご一緒に考えます。



本社保険事業部 TEL 0120-27-2413 福岡営業所 TEL 0120-60-2960 熊本営業所 TEL 096-288-7162



広告用電設資材総合卸・LED照明環境の
総合プロデュースを通じて、快適な視空間を社会に提供します。

1975年の創業以来、多くのお客様に支えられ、数々の広告用電設資材のご提供を手がけてまいりました。2015年3月に、株式会社小林洋行の連結子会社となり、新たに小林洋行グループの一員として、従来の広告用電設資材総合卸に加え、省エネルギー対策や快適な視空間の確保のためのLED照明のご提案を展開しております。

本社 TEL 03-5999-3434 (代)
FAX 03-5999-3477

日本橋オフィス TEL 03-3669-7762
FAX 03-3669-3375

Topics

スポーツ施設提供業

(運営)

株式会社日本ゴルフ倶楽部

エバーグリーンの広大なステージ。
ここにはプレーヤーの心を満たすすべてがある。
シックな佇まいのクラブハウスは寛ぎのひとときを、
ある時は豪快に、ある時は贅沢に満たします。
フェアウェイ・ティーグラウンドに
寒地型芝草（ペレニアルグラス）をオーバーシーティングして、
年間を通じて鮮やかな緑の芝生でプレーができます。



ゴールドクロス C.C.

千葉県長生郡長南町市野々575
TEL : 0470-82-5211
<http://www.goldencrosscc.com/>

年間を通じてフェアウェイが美しい緑の絨毯

圏央道市原鶴舞ICより約7分。「ゴールドクロスカントリークラブ」



インターネット広告業

株式会社小林洋行コミュニケーションズ

集客力を高めるためのホームページ制作や、デザイン変更のご提案をいたします。
また、検索連動型広告のより効果的な運用のお手伝いなども行っております。
お気軽にお問合せください。



東京 TEL : 03-3669-4282 名古屋 TEL : 052-856-9639
京都 TEL : 075-255-2381 福岡 TEL : 092-419-7043

不動産業

多様なアプローチから不動産活用を行っております。

当社グループでは、所有する不動産を賃貸し安定した収益を確保しております。
また、中長期的な安定収益の確保を目的とした賃貸物件等の取得、
及び、短期的な収益の獲得案件にバランス良く投資してまいります。

- ▶ 2013年1月～ ビジネスホテル（相鉄フレッサイン日本橋人形町）
- ▶ 2014年3月～ 賃貸マンション（ロイヤルコート日本橋人形町）
- ▶ 2015年3月～ 賃貸マンション（エリートタウン日本橋）

相鉄フレッサイン日本橋人形町
東京都中央区日本橋蛸殻町1-15-4
TEL : 03-5695-0203



株式の状況

2021年3月31日現在

会社概要

- 株式数 発行可能株式総数 27,000,000株
発行済株式の総数 10,094,644株
- 株主数 17,514名
- 大株主

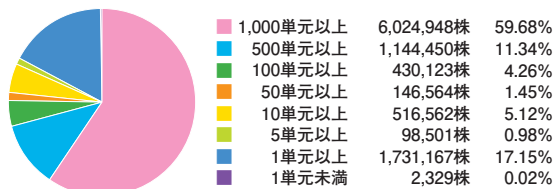
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社東京洋行	2,788	29.52
株式会社りそな銀行	463	4.90
共和証券株式会社	312	3.30
細金成光	297	3.15
細金英光	283	3.00
トウヨウ セキュリテイズ アジア リミテッド	231	2.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	219	2.32
細金千恵子	170	1.80
細金玲子	156	1.65
株式会社日本カストディ銀行 (りそな銀行再信託分・リゾートトラスト 株式会社退職給付信託口)	121	1.28

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示し、また、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式を650,246株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
3. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況 (1単元 100株)



- 商号 株式会社 小林洋行
- 英訳名 KOBAYASHI YOKO CO.,LTD.
- 本社 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号
- 設立 1949年(昭和24年)3月26日
- 資本金 20億円
- 主な事業内容 ・グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務
・不動産賃貸業
- 役員 代表取締役社長 細金成光
(2021年6月29日現在) 常務取締役 大丸直樹
取締役 渡辺宏
取締役 瀧澤克行
取締役(監査等委員) 霞信彦
取締役(監査等委員) 加藤周二
取締役(監査等委員) 西田章

(注) 取締役(監査等委員) 霞 信彦氏、加藤周二氏及び西田 章氏は、社外取締役であります。

- 連結従業員数 156名(2021年3月31日現在)
- 主要取引銀行 株式会社りそな銀行・株式会社みずほ銀行・三井住友信託銀行株式会社

- 小林洋行グループ 株式会社フジトミ
(連結子会社) (東京証券取引所JASDAQ 証券コード8740)
- 株式会社三新電業社
- 株式会社日本ゴルフ倶楽部
(ゴールドクロスカントリークラブ運営)
- 株式会社小林洋行コミュニケーションズ

(注) 看板資材株式会社は、2020年7月31日をもって清算終了しました。

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。

剰余金の配当の基準日

3月31日及び中間配当金を支払うときは9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、下記URLより「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

https://faq-agency.smbt.jp/?site_domain=personal



▲こちらから
アクセス

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵送物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

同取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

【特別口座にて当社株式をご所有の株主様】

特別口座にて当社株式をご所有の株主様にかかる住所変更等のお届出につきましては、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の掲載

電子公告により、当社ホームページ
(<http://www.kobayashiyoko.com/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式会社 小林洋行

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号

電話 (03) 3669-4111 (代表)

<http://www.kobayashiyoko.com/>

株主優待制度

毎年3月31日^{注)}現在の株主様に対して、株主優待としておこめ券を次のとおり贈呈します。

所有株数	100株以上	1,000株未満	おこめ券	2枚
所有株数	1,000株以上		おこめ券	5枚

おこめ券は、全国のお米取扱店・有名百貨店・スーパー・コンビニなどをご利用いただけます。また、おこめ券1枚で440円分のお米とお引き換えでき、有効期限はありません。



注) 1年以上継続保有の優待制度：2021年3月末日を基準日とする株主優待制度から毎年3月末日を基準日として、3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で3回以上連続して記載または記録されていることといたします。株主優待は「定時株主総会決議ご通知」(6月末)に同封し発送させていただきます。

